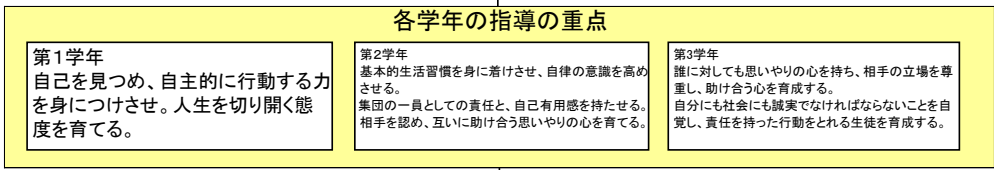


学校の道徳教育の重点目標
・自他の生命を尊重する心を育てるために、あらゆる機会をとらえて様々な話を聞かせる。
・学級や学校の一員としての自覚を持ち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよい校風を樹立する



各教科

<p>国語 文字や言語で表現したり聞き取る学習を通し伝達能力を高め、他者との円滑な意思疎通能力を身</p>
<p>社会 日本や世界についての理解を通して、我が国や郷土への愛情を深め、国際社会に生きる日本人</p>
<p>数学 数理的解決力を育むことで問題解決能力を養いながら、真理を追究しようという姿勢を身に付け、遂行力を高める。</p>
<p>理科 自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとの科学的な認識力を高める。</p>
<p>音楽 音楽に触れることで豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また、伝統音楽の演奏を通し我が</p>
<p>美術 作品の制作を通し、想像力や創造力を高め、鑑賞を通して美しいものに感動するよらかな心情を</p>
<p>保健体育 運動や健康に関する学習を通して自他の能力を生かし合い、協力して課題に取り組む姿勢を身に</p>
<p>技術・家庭 生活に深く関わる体験的学習を通して、生活を充実させる方法を学び、情報処理の正しいあり方を身に付ける。</p>
<p>外国語 言語や文化の違いから、国際理解の基礎的な力を培う。言語を通して、広く世界に思いをよこせ、国</p>
<p>読書科 学び方や、ものの考え方を身につけ、問題解決や探索活動を通して、自己の生き方を考えることが</p>

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

■1年
○望ましい生活習慣を身につけることの大切さを自覚し、自らを律し、生活をただす。A-1
○助け合いの精神を重んじ、生活を支えている人への感謝の気持ちをもつ。B-6
○身近な自然とふれあい、生命のつながりを自覚して、生命を尊重する心をもつ D-19、20
○法やきまりの意義を理解し、集団の一員としての役割と責任を果たす。C-10、15

■2年
○相手の立場に立って、お互いのよさを認め、励まし合い、高め合う。B-8、9
○社会連帯の自覚を深め、差別や偏見をなくし、よりよい社会の実現をめざす。C-11
○自然の営みに生命を感じ取り、感動や畏怖の念を深める。D-19、20、21
○学校の中心学年としての自覚をもち、協力してよりよい校風を樹立する。C-15

■3年
○より高い目標に向かってねばり強く取り組み、理想の実現をめざす。A-3、4
○人間尊重の精神を基盤に、他者に対して思いやりと信頼の心をもって接する。B-6、8
○心の弱さや醜さを克服して、自分に恥じない生き方をする。生命のつながりを自覚して、声明を尊重する。D-19、22
○人間としての最低限の規範意識を身につけ、積極的な社会参画の自覚を深める。C-12

指導方針
一人一人を大切にする学級集団づくりをめざし、人間尊重の清新を深める。
心の交流を図り、互いに認め合う関係づくりに努める。

指導の工夫
年間指導計画を作成し、適切な資料の収集・選択・開発・活用に努め、道徳的な実践意欲や態度を育成する。東京都道徳教育推進拠点校として、「考え、議論する道徳」に取り組む。

特別活動

学級活動
道徳実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れて道徳教育の

生徒会活動
生徒会役員を中心に、学校の一員としての自覚を高め、より良い校風をつく

学校行事
活動を通して、集団の一員としての自覚を高め、道徳の実践の場として計画的に深化を図る。

総合的な学習の時間

課題を見つけ、判断し、ねばり強く課題を解決していく中で、目標をめざして着実にやり抜く強い意志を育てる。

